杉浦　司美

◆幼保一元化について

問 公立保育園再編計画について概要と進捗状況は。

答 策定にあたっては、幼稚園、保育園の現状を把握するために、各園長が感じている課題や問題点を整理し地域ごとに保護者会の皆様から課題や要望、意見の聞き取りをしました。その後、地域ごとの課題を整理分析をして、統廃合や幼保一体化に向けた方向を検討してきました。

統廃合や一体化の施設を目指す最大の目的は、厳しい財政状況の中でも、子どもたちが健やかに育つために、教育保育を地域の中で受けられる体制をつくり、保護者のニーズに応えることであります。

計画の概要は、最終目標を幼保一体化施設の整備として、第一に、通園区は中学校を単位に、市内各中学校区に最低1箇所の幼保一体化施設を整備することを最終目標とする。

第二に、0歳児から5歳児までの未就学児童を対象とし、3歳以上の児童については保護者が働いている働いていないなどの保護者の事情によって行き先がない子どもが発生しないような体制を構築したい。

第三に、少子化により児童人口は減少しておりますが、子育て支援を求める保護者の声はますます大きくなることが予想され、とりわけ3歳未満児の定員確保に努めたい。

第四に、施設の規模は、保護者との連携や施設の管理運営の上から、統廃合や一体化施設への定員は、多くても2百名程度を基準に考えております。

問 策定委員会について

答 委員会は10名で構成、一般から委員の公募はしていません。

問 統廃合について

答 計画をまとめた後、実施計画を作成し、実施に移してまいりたい。

▲山神保育園

《第１回定例会一般質問》

おぜき祥子

◆住民の願いかなえる予算編成になっているのか

問 子どもたちの健やかな成長をめざすまちづくりについて

答 「子ども手当」の市の負担は従来の児童手当分のみ。公立保育園等再編計画では、幼保一体型施設の整備や幼稚園での3年保育の充実、統廃合による保育園での5歳児クラス設置を掲げている。市の就学援助は要保護の1.5倍まで認定しており、他市ではもう少し低いところが多い。

問 健康で安心して暮らせるまちづくりについて

答 国保料の伸びは見込みで前年度比2.2％。国保ドックの負担割合を見直し、受給者数を８８０名予定。ヘルスアップ事業を実施したが、参加者が少なく支援方法を検討。すこやか健診の変更により、受診単価は8千9百円となる予定。

問 高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちづくりについて

答 後期高齢者医療保険料の料率を据え置く。前期高齢者医療保険料の年金天引きは実施を見合わせる。

介護保険料は、介護給付費準備基金等から繰り入れ、第三期の基準額を下回るよう抑制。障害者自立支援法の利用者応能負担等、抜本的な見直しが進められている。

問 中小企業を応援するまちづくりについて

答 景気対応緊急補償制度は、可能な限り迅速に認定書を発行する。中心市街地で店舗賃貸借促進補助、固定資産税補助を行なっている。ポリテクセンターでは、中小企業緊急雇用安定助成金制度を利用して、職業訓練を実施。

問 ゆとりを実感できるまちづくりについて

答 都市計画マスタープランの策定は、住民意向の反映、合意の形成のため、地区ごとに「地元説明会」を開催。まちづくり交付金を活用して、新土岐津線整備、文化プラザ・図書館の耐震工事、上水道耐震管布設工事等ハード事業やソフト事業を約24億円で実施。五斗蒔スマートＩＣでの市の負担は1億6千6百万円。老朽市営住宅の建て替え計画はない。環境センターの適切な保全計画のもと、平成42年度までの20年間使用することが有効。

塚本　俊一

◆市営住宅について

問 市営住宅の現状は。

答 特定公共賃貸住宅30戸と市営住宅506戸です。

問 市営住宅の建替え予定は。

答 考えていない。57戸取り壊し、施設整備を中心に考えている。

問 高齢者住宅の建設はどうか。

答 今のところ計画はありません。

問 若い世代向け住宅の建設はどうか。

答 今のところ計画はありません。

問 公営住宅の使命と住宅環境を考慮した土岐市住宅計画の必要性は。

答 社会の非常に激しい変化の中で高齢者・若者・障がい者・地域住宅環境等十分考慮をしながら、住宅施策を検討していきたい。

◆合併特例法について

問 平成22年4月1日から新しい合併特例法が施行されるが、瑞浪市との合併について市長の考えは。

答 枠組みに関しては、全くのフリーでありまして、住民の皆さんが「一市ではやっていけないので、将来を考えて合併したらどうか」ということであれば、住民の方から声かけしていただいて、私が先頭に立ってやりたいというふうに思うわけですが、現段階では考えていない。

◆自治基本条例について

問 平成16年6月本会議での私の質問に対し仮称「政策法務審議会」という研究会を設置して検討するとのことでしたが現状はどうか。

答 現在設けておりません。総務部総合政策課を中心に調査・研究を進めている現状です。住民の皆さんが、「この条例を活用して何かやりたい」というふうに仕掛けてもらえれば大変よい。

◆パブリックコメント制度について

問 平成16年3月本会議での私の質問に「研究をさせていただきたい」との答弁でしたが現状はどうか。

答 総合政策課で研究をしているところですが、土岐市パブリックコメント手続要綱案というものをまとめまして先月庁議に上げたところであります。

◆介護保険について

問 介護保険を利用されなかった高齢者の保険料等の割引はどうか。

答 割引をすると保険料を上げなければならないので介護予防事業を積極的に推進していきたい。

《第１回定例会一般質問》

楓　博元

◆耕作放棄地について

問 耕作者の高齢化・後継者の不足等で耕作放棄地が増加しているが、土岐市の現況はどうか。また土岐市の農業をどうするか、休耕田を無くそう、特産品をつくろう、と考えている市民グループの存在はどうか。

答 430・9haの農地の12・7％にあたる54・7haが耕作放棄地です。農地の保全、耕作放棄地の発生防止に取り組む4団体、朝市のグループ4団体を把握しております。

問 土岐市の農地をどのように維持していくかを市と農業委員会を含めた関係者とで検討する必要性があると考えますが。

答 地産地消の推進、土岐市の物産のものづくりを含めた仕掛けづくりに向けて、農業委員会、市、県、農協、地域の団体の方々と連携し、具体的な方向性を見出せるような事業の推進を図っていきたい。また耕作放棄地となった要因を詳細に分析し、まちづくりの1つとして地域ごとに積極的な対応を進めるつもりです。今後朝市グループと協力して、地産地消が叫ばれる中、学校給食においても地元野菜を使った給食メニューの提供、また農業振興のため耕作放棄地を活用した具体的な方向性・仕掛けづくりを関係団体と連携・協議してまいります。

問 耕作放棄地対策としても有効な市民農園について、ホームページ・市外の人の利用の促進等の新しい手法を取り入れる考えは。

答 市のホームページにも掲載し、お楽しみ農園の利用状況、農地の活用状況等、情報提供をしたいと思います。農地を借りやすく、貸しやすくするための検討をし、有効利用を図りたいと考えています。今後も担い手の育成・支援を通して耕作放棄地の解消に繋げていきたいと考えています。

▲耕作放棄地

松浦　勝男

◆市道占用について

問 最近、市道にて交通事故が多く発生しておりますので、市道等に対する占用状態についてお伺いします。

答 市の道路上は電気・電話用の電柱、水道管、河川の橋等を占用許可にて使用を認めております。しかし、それ以外は認めておりません。

問 例えば、市道上に自動車を長期に亘り駐車した場合は市道占用になりますか。

答 不法占用ですので、所轄の警察など関係機関と連携をとり、自動車の移動を指導することになります。所有者が不明の場合については、土岐市道路上放置自動車取扱要綱に基づいて対処します。

問 警察によると、駐車禁止区域でない場所では指導が出来ないとのことですが市としては、今後どのようにされるか対策をお伺いします。

答 道路交通法の適用には限度があるという観点から、根本的な解決や対策が難しいのが現状です。市道は、市民の生活に不可欠な道路ばかりです。地域住民の安全な生活を守るためにも、市や警察と地域が連携をとり、不法駐車を少なくするため、啓発・指導をして参ります。

◆JR土岐市駅北口にて観光バス等の発着について

問 バス旅行の集合場所は北ロータリーや道路上が多く、出発時刻は早朝が多く近くの住民は睡眠妨害にもなります。現在何台位のバスが発着していますか。また曜日別では何曜日が多いかお伺いします。

答 土曜日から日曜日にかけて5台から10台位と聞いております。

問 市営北駐車場を利用する人が最近少ないようですが利用率は何%位ですか。

答 平均利用率が60%程度、特に中央線西踏切及び駅西ゲート付近に空車が目立ちます。

問 市営北駐車場の空車部分を利用して、バス発着場スペースを確保したらどうかと思いお伺いします。

答 今後はバス業者に対して「アイドリングストップ」の励行に努めていただくようにお願いします。今のところ駐車場を使用することは考えておりません。

《第１回定例会一般質問》

髙井由美子

◆子ども議会・女性議会の開催について

問 現在、広島では平和学習のメニューとして、ひろしま子ども議会を実施しています。土岐市は焼津市と姉妹交流があります。焼津市では焼津平和賞を創設されています。焼津市との交流に子ども議会の開催の考えは。

答 子どもたちが市政に興味を持って議場を使ってやりたいとか、市政発展のためのアイデアを結集し意見を述べたいという機運が盛り上がった時に開催するのが望ましい。

問 女性の社会参画促進の中でより多くの女性の声を聞くために女性議会の開催の考えは。

答 今後、女性団体等から主体的な意見があり団体の実施意向があれば開催を検討していきたい。

◆予防接種の公費助成について

問 近年病気は治療から予防の時代となってきました。市民の生命を守るための取り組みとして、各地で公費助成が取り組まれています。乳幼児を髄膜炎から守るためにヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、女性特有のがん対策として、唯一予防のできる子宮頸がんワクチンの接種に対して公費助成の考えは。

答 予防接種法の改正を含め厚生労働省も鋭意研究を進めている。さまざまな情報等も積極的に収集し前向きに考えていきたい。

◆今後の介護問題について

問 安心して老後を暮らせるために、公明党では昨年11月から12月にかけ介護総点検を全国で行いました。アンケート調査の中で、年金だけで入所できる施設を増やして欲しい等の声が多く寄せられました。最優先入所が必要な要介護4・5の待機者の土岐市の実態をどのように把握されていますか。

答 介護老人福祉施設は2施設259人、介護老人保健施設は2施設359人の待機者がいる。